

ま な び や

# 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.17 2008年2月20日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 HP: <http://www.seikei-seminary.org/>  
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。しばらくごぶさたしているうちに、さまざまな出来事が神学校を去来し、病気やけがで入院休学する在校生も出て、悲喜こもごものうちに初春を迎えました。ある意味で、最も悪魔の攻撃にさらされやすいのが神学校。お顔は見えなくとも、皆さまの祈りを日々しみじみと覚えております。僣越ながら、どうか祈りの手を下ろさず、共に歩んでくださいますよう、皆さまへの心からのお願いです。

「いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは」(ルカ18:1)

校長 関野祐二

## ● 声かけもギリシャ語で!?

神学校校長ってどんな仕事をするのだろう、こんな仕事かな?と模索しながら5年が経ちました。その間、変わらず心がけてきたのは、在校生ひとりひとりへの声かけ。何気ない会話でもその日の状態を知るには大切です。校長室で待っていたら誰も来てくれないので(!)、授業前後に廊下で待ちかまえ、それでもだめならクラスに乗り込むしかありません。先日、いつもの調子で授業前にガラガラッと前扉を開け、開始5分前のクラスメンバーに話しかけたら、突然!兄が“Shut your mouth!”(お口を閉じて!)と。こぼれそうな頭に詰め込む小テスト準備に余念がなかった皆さんのじゃまをしていたのですね。KYでした。数週間後、懲りずに「むだな抵抗はやめなさい」などとおちょっかいを出していたら、今度は背後から「アナタ、またじゃましてるわね」と聞き覚えのある声。そういえば中学の頃、試験答案を配ったあとでごちゃごちゃ説明を始める教師に「うるさいな」と怒りを覚えた自分を思い出しました。クイズ開始後は静かにしますから、せめて始まる前はサッサと腹をくくってよもやま話におつきあいくださいね。

そういえば先日の神学概論クイズ、採点をしたらなんと暗唱聖句がギリシャ語!「一度挑戦を試みたかった」とはK姉の弁。その努力とチャレンジ精神には脱帽です(続く人はいないかな?)。

## ● 千客万来

今年度は、授業見学を希望する人が特に多く、すでに何人も受け入れました。今更何を隠すまでもなく、年季の入った施設も、「コレ、新約通論でやったはずですよ」との問い詰めも、みんなオープン。昨年は見学者だった人が今はいっばしにクラス学生なのですから、不思議なものです。来校者の皆さん、口をそろえて「アットホームな授業ですね」と感想を述べてくださいます。年齢層が広いし、貫禄充分のお父さん役も、慰めフォローに徹するお母さん役も揃っているので、さもありなん。へこんだ若い神学生を温かく包み込むその光景は、麗しき共同体そのものです。

旧約神学は、ヘブル語ソフトをインストールしたパソコンを学生が持ち込んでのハイテク授業。見学者も驚いていましたが、これは例外で、他は未だ紙とエンピツですから誤解なきように。

## ● 面談は和やかに、掲示板はにらんで

今年度後期も残すところあと一ヶ月弱。年明けから始めた個人面談、今年はどういうわけか(!) 盛況で、すでに30人を超えました。立ち話や大勢の中では聞けない祈祷課題を共有し、来年度前期履修科目の選び方を一対一で思案する場です。在校生54名ともなれば、学びの目的や生活状況も多種多様で覚えきれないほど。頼りない聞き手ですが、数十分(時には一時間)をとともに過ごすだけでも感謝。同じ献身者として心に響き合うものがあるからです。物置状態(望遠鏡もあるよ)の校長室ですが、これだけ稼働するなら来年は少し片づけてソファーでも置こうかな。

わが神学校は単位制のため、次期履修科目を自分で決めて履修届を出すシステム。勢いこの時期はみんなナーバスになり、2008年度はおろか2009年度暫定カリキュラムをもにらみながら(掲示板の前でホントににらんでいるのですよ)、どの順番で履修するかメニューを決めます。特に来年度は教理史と中間時代クラスが新設され、再来年度は霊性の神学クラスも加わる過渡期(毎年「今は過渡期ですから」と言い訳しています)。「〇〇〇クラスは週一度」などと口伝伝承が広まるのもこの時期です。体力、仕事や家庭生活、そして経済とご相談の上、決めてくださいね。

## ● 行く人、来る人、片づける人

入学試験は3月7日(金)です。現在、問い合わせや願書が嵐のように(と願いたいところですが、そよ風のように)届いています。願書締め切りは2月末。今年はいよいよ年で1日長いし、Never too late ですから、このレターを手にしている皆さんの中で、あるいはお知り合いで入学希望の方がおられたら、すぐにお問い合わせください。主の導きがありますように。

そして卒業式。校長就任間もなくから文字通り苦楽をともにしてきた8人の面々が巣立ちます。園芸部長も演芸部長も卒業。去年は感謝会場が満員電車状態でしたが、今年はいかがでしょうか。説教者は、昨年2名を送り出し、今年も1名卒業、なお在校生もいる瀬谷教会の牧師で、ご本人も卒業生という、聖契応援団の中川タエ子師。祝福あふれる会場に皆さんもぜひおいでください。

宿題もクイズもない春休みをはさんで、入学式は4月1日(火)です。教師勤務最長不倒の長谷川義信師(説教A)がメッセージを担当しますので、乞う御期待。何人がこのとき、式を受ける側に立つか楽しみです。新役員を中心とした学生会による歓迎会も盛大に行われるでしょう。前期授業開始は4月3日(木)。春の温もりに誘われてエスケープしないように!

ところでこの春休み、事務方による事務所大改造を計画しています(公言しないと気持ちが萎えるので)。卒業生A兄のご尽力で不要品が片づき、事務員増員受け入れとインターネット環境整備に着手する見通しが立ったので、事務机を二人用に入れ替え、保存書類などを移動する予定。併せて、懸案の図書室整備にも手をつけられたら、と願っています(購入図書、寄贈図書がたまっている)。寮生の皆さん、柔軟ストレッチで準備し、お手伝いをよろしく願いしますね。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 休学中や療養中の在校生が新年度から復学できるように。新入生を加えた在校生の、新年度前期の学びが支えられるように。新規科目「教理史」(担当:丸山悟司師)のため。
- ・ 卒業を控えた専門科8名の最後の学びと、卒業後の働きや歩みが守られるように。
- ・ 神学校の働きが守られ、キリスト教界における使命を新年度も全うできるように。教職員、運営委員、理事の働きが支えられるように。
- ・ 5月~7月に予定されている「霊性と黙想の特別セミナー」が祝福されるように。